

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会  
令和3年度 第1回情報共有会合議事概要

1. 日時：令和3年5月31日(月) 14:00～15:00

2. 会議形式：ウェブ会議システムによるオンライン開催

3. 参加者 35名

北海道大学（1名）、酪農学園大学（3名）、北海道開発局（7名）、北海道運輸局（1名）、陸上自衛隊北部方面総監部（1名）、北海道（5名）、札幌市（1名）、岩見沢市（1名）、石狩市（1名）、日本測量協会北海道支部（2名）、北海道測量設計業協会（1名）、建設コンサルタンツ協会北海道支部（1名）、日本写真測量学会北海道支部（1名）、Digital北海道研究会（1名）、北海道オープンデータ推進協議会（1名）、北海道産学官研究フォーラム（2名）、北海道G空間情報技術研究会（1名）、スペシャリストの会（1名）、EnVison環境保全事務所（1名）、国土地理院（2名）

4. 議事

- ① 国土地理院北海道地方測量部長挨拶
- ② 情報共有会合について（設置の経緯ほか）
- ③ 全体討論
- ④ 事務局まとめ
- ⑤ その他（報告事項など）

5. 議事概要

全体討論において、参加者による事前アンケート結果に基づき、今年度開催予定の情報共有会合における話題について討論し、次回以降の情報共有会合開催に向けて、参加者からの意見を踏まえた話題を設定することを確認した。

事前アンケートで回答のあった事項の内、国土交通省の3D都市モデル整備・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU（プラトー）」については、データ変換等に関する技術的な情報や、社会における具体的な活用事例について知りたいとの意見があった。それに対し、出席者から現時点で把握している技術的課題やその対応方法、今後予測される活用分野等に関する情報提供があった。

地理教育・人材育成については、GISソフトウェアの操作方法に関する研修等の要望があり、それに対し、出席者からGISソフトウェアのセミナー開催状況や提供可能なオンライン教材などの情報共有があった。また、令和4年度からの高校地理必修化に向けた教員からのニーズや、教材の充実に関して議論してはどうかとの意見があった。

近年注目されている新技術については、高精度測位が支える自動運転技術の動向やインフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）を加速するi-Construction施策の動向などの共有について意見があった。

地理空間情報の整備・共有については、オープンデータ化の先行事例や公開する際の問題解決策の共有、行政機関が保有するデータに対するニーズ、関係機関が保有する各種データの横断的に活用するための仕組みに関して議論してはどうかとの意見があった。それに対して、参加者から構築中のオープンデータベースの情報提供があった。

その他、道内防災関連機関の動向など防災分野に関する意見があった。

#### 6. その他（報告事項など）

事務局から、北海道地方測量部ホームページにて公開中のイベントカレンダーへの情報提供、本年12月に開催予定のG空間EXP02021「Geo アクティビティコンテスト」への応募案内について報告した。

次回の情報共有会合について、9月頃を目途にオンライン開催することを確認した。